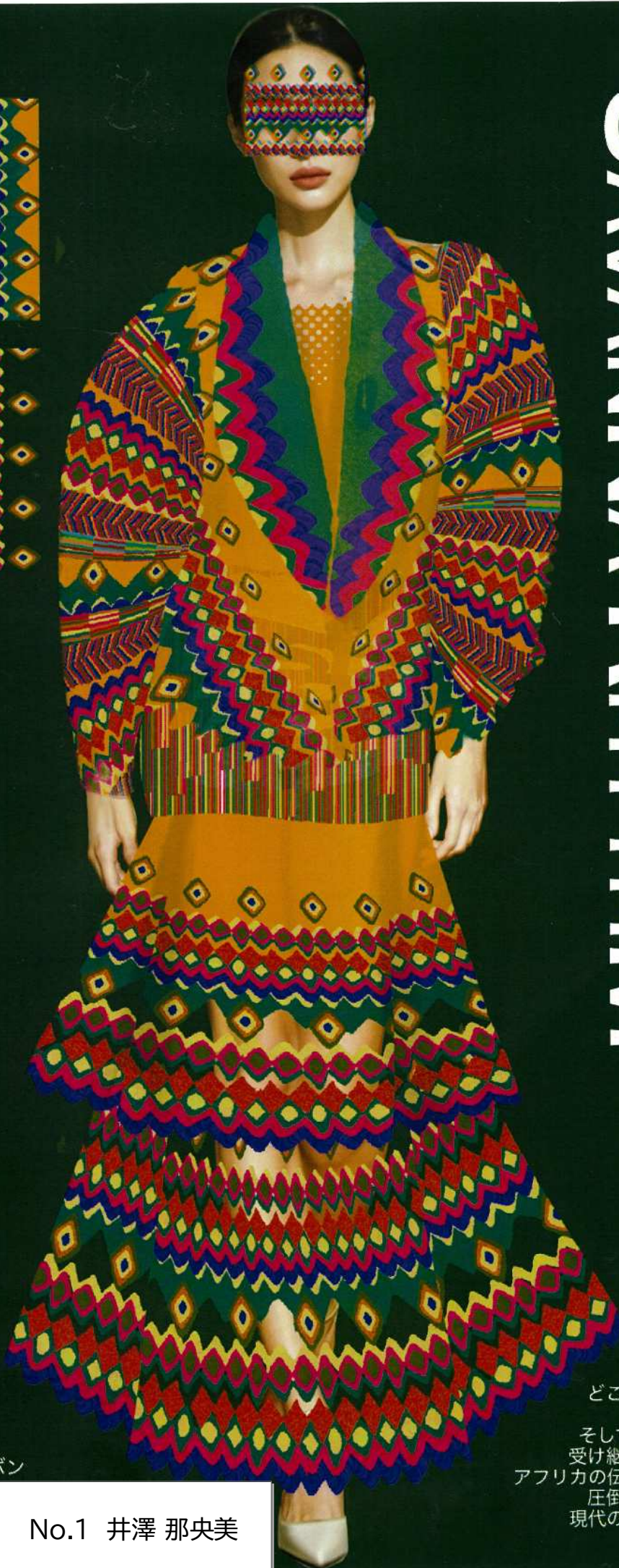


SAVANNA RHYTHM



素材イメージ



Material:ポリリボン

No.1 井澤 那央美

どこまでも続く地平線
鳴り響く鼓動
そしてどこまでも脈々と
受け継がれる生命の強さ。
アフリカの伝統的なテキスタイルが持つ
圧倒的なエネルギーを
現代のシルエットへと昇華



余白としての欠損

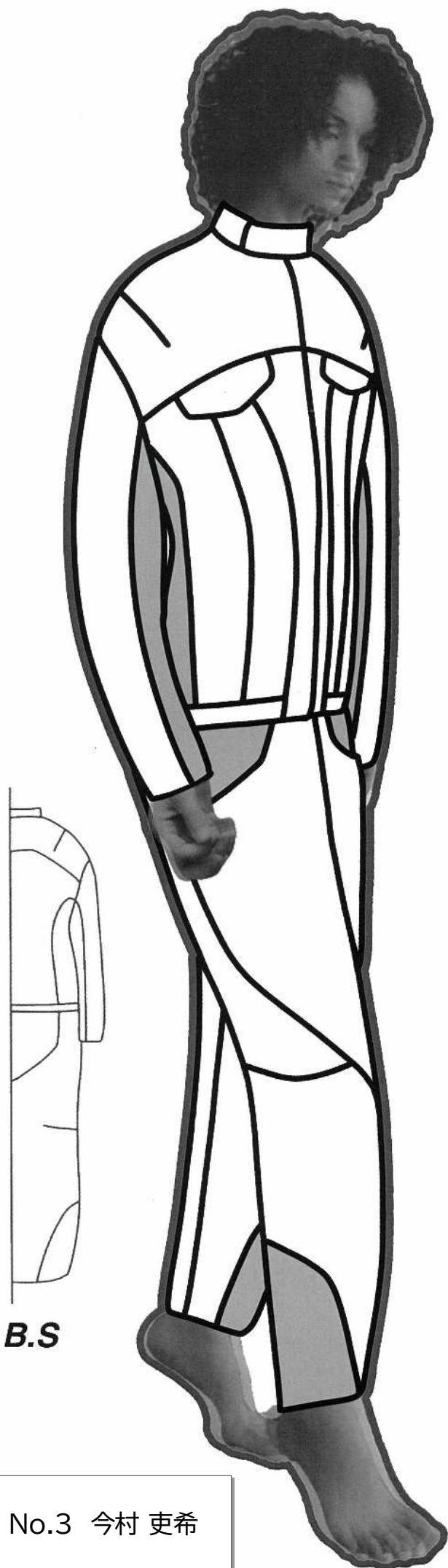
欠けたものは失われない。

零れ落ちた糸は内側の痕跡となり、
空白は静かに膨らみ続ける。

欠けた場所から生まれる生成の力を、
衣服として表現したい。



ZERO-CUT PATTERN



No.3 今村 吏希

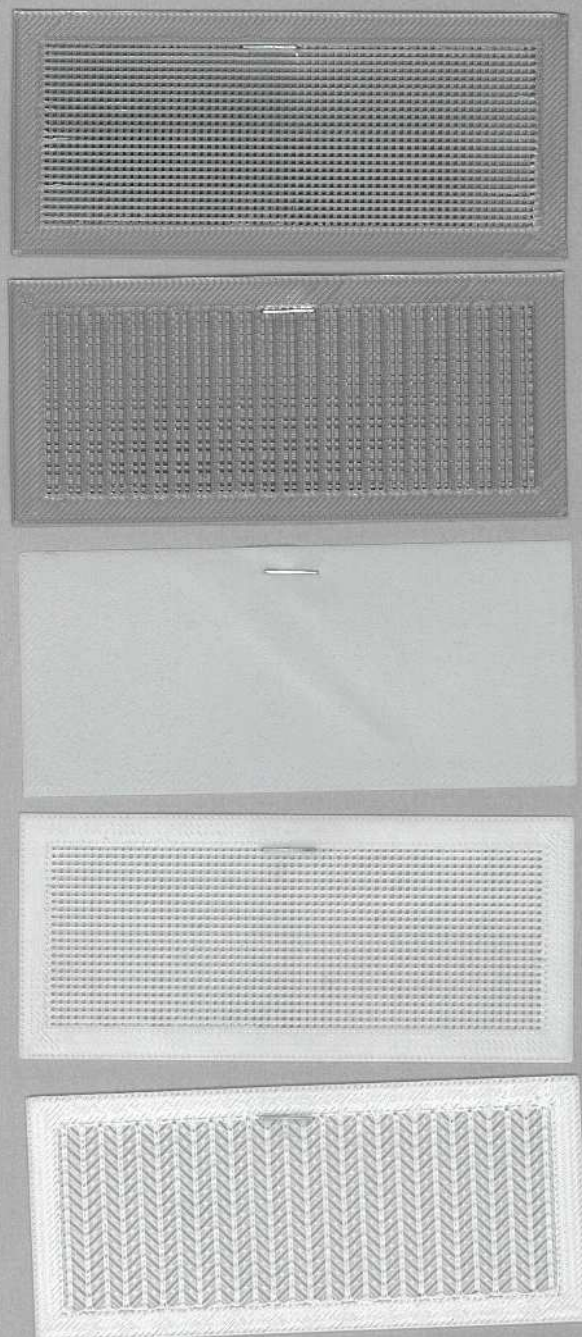
-CONCEPT-

従来の服作りは布地の裁断により端材が廃棄される。本作は 3D プリントにてテキスタイルをパターン形状のまま直接出力する。裁断を行う必要がなく、端材の廃棄を削減することができる。

3D プリントファッションは裁断ロスを生まないだけではない。パーツに応じてテキスタイルの厚みや構造、密度を調整することで、通気性・伸縮性・強度などを設計することができる。

これがファッションの『Next Stage』。

-3D PRINTED TEXTILES-



RIPPLE EFFECT

一滴の雫によって生まれる波紋のように、小さな力が周囲へ広がり大きな影響を生み出す現象を表現した。外部から加えられたエネルギーによって直線が波へと変形する過程を、ウェーブ状のテキスタイルと身体を包み込むシルエットで可視化し、見えない力の伝播を衣服として表現した。



C
B

No.4 江間 千紘

We are Blue

私たちは青い

日本における「青」は、若さや未熟さを意味する。しかしそれはネガティブな意味ではなく、さらに前に進めるという風に解釈する。本作は、「隣の芝は青い」ということわざから着想を得て、他者との比較による焦燥感を抱える現代の若者に向けたデザインを提案する。

温かみのある素材とルーズなシルエットによって、安心感と心の余白を生み出し、自分自身を肯定できる衣服を表現した。

TECHNIC



フェルティングニードルでウールを幾重にも積み重ねることで、成功や失敗を含む経験の蓄積を表現した。その波のような凹凸は、一人ひとりが歩んできた時間の軌跡である。

BACKSTYLE

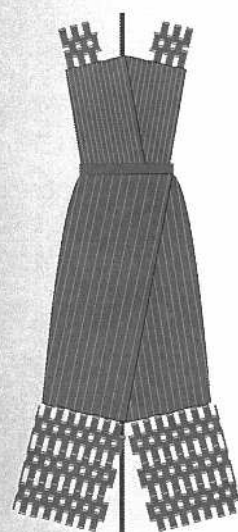


No.5 大路 み美

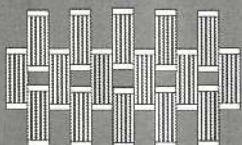
軌跡



BS



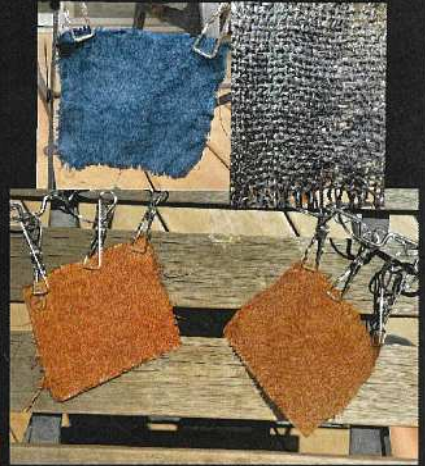
ディテール説明
モチーフの長方形ごとに刺繍を施し
長方形にカッティングしていき
繋ぎ合わせる



No.6 奥 虎大

What is Real

正藍染め
↓



市場の99%以上は化学染料
(合成インディゴ) を用いた
インディゴ染めが占めているため
日本古来の伝統技法を知って欲しい
という気持ちを込めての
デザイン

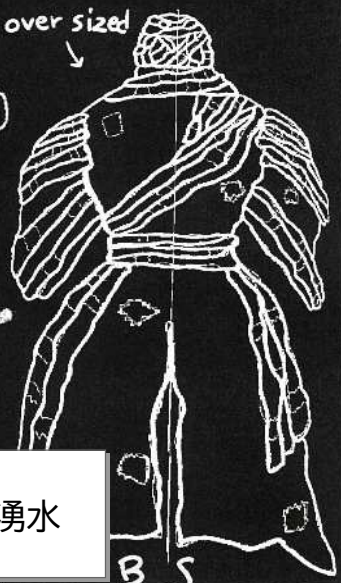
正藍染を深く知るため
自宅で藍建を行っています。



柿渋染め

刺子

over sized
↓



No.7 奥田 湧水

B S

Zipstream

ジッパーを核にした保温ショートジャケット

コンセプト

無数のジッパーを構造の主役として再構築し、
開閉や位置の変化によってシルエットと
機能を調整できる保温ショートジャケット。
環境や気温、着る人の動きに合わせて変化する
インタラクティブなウェア。



パーツ詳細



YKK防水ファスナー



モジュール構造



隠しコードアジャスター



ロングジッパープル

シルエット図



フロント



バック

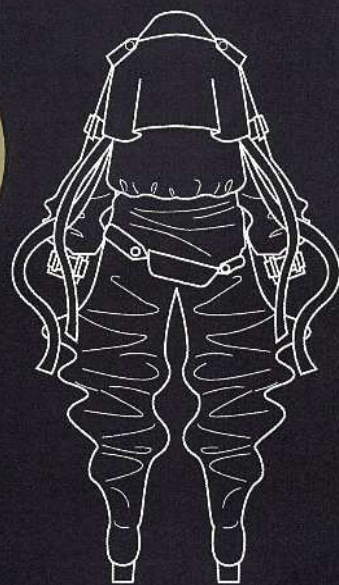
Blurred Class.



都市でトレンチコートを着て朝早くから働く人達
工場や建築現場で作業着を着て深夜まで働く人達
それぞれの用途に合わせての服装だということは理解し
ていますが、どちらも大変な仕事には変わりないはずなの
に、世間一般的に「スーツを着て働く人間の方が偉い」と
いう偏見が私の中ではとても不思議でなんだか悔しい
私のこの感情からトレンチコートと作業着を融合させた
『階級の曖昧化』を促すファッションを提案します

どちらも仕事への戦闘服に変わりはないのだから

B.S



MODE

concept

全身ブラックにし、
クールなイメージの中に
肌見せをすることで
女性らしさをいれました。

material

レザー

BS



No.10 木野 天音

タータンチェックの花嫁



AIR VEIN : NEXUS FORM

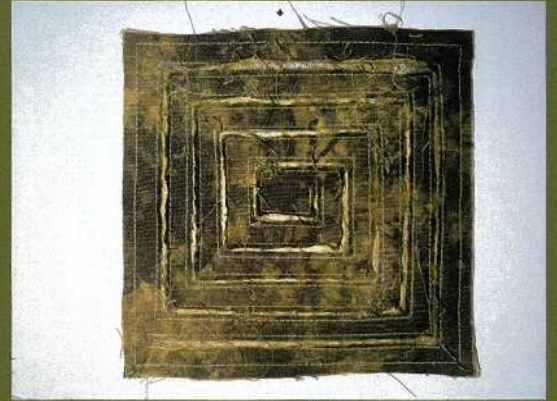
空気の流れや血管のように走るギャザーラインを、
“人・都市・衣服”をつなぐ接続の象徴として表現した。
立体的に膨らむフォルムは空気を含むことで保温性と快適性を高め、
身体をやさしく包み込む。

有機的な造形と機能性を融合させ、
都市生活に適応する次世代のアーバンウェアを提案する。



breaking out of your shell

textile



concept

次のステージへ進むためには、
今の自分を包む殻を破らなければならない。
取り外し可能なパーツは成長前の殻を表現し、
それらを外すことで内側に潜む光が現れる構造とした。
スラッシュ加工から覗く明るい素材は
殻の内側で育まれる新たな可能性を表している。



No.13 小谷 百合愛

断片が光を受け、万象へと変わる。

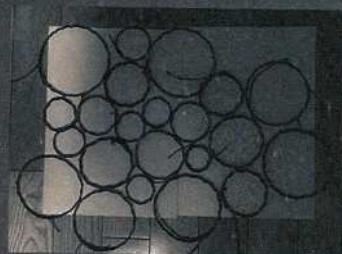


Ytenk



10000年(100世紀)後の衣服はどうなっているのか、存在しているのか、そんな僕が考える100世紀の衣服をリアルクローズに落とし込みました。

image sample



back style

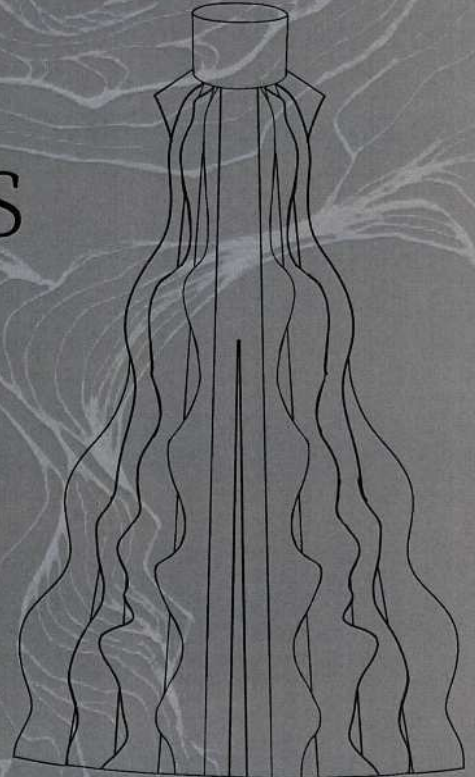


余白の庭

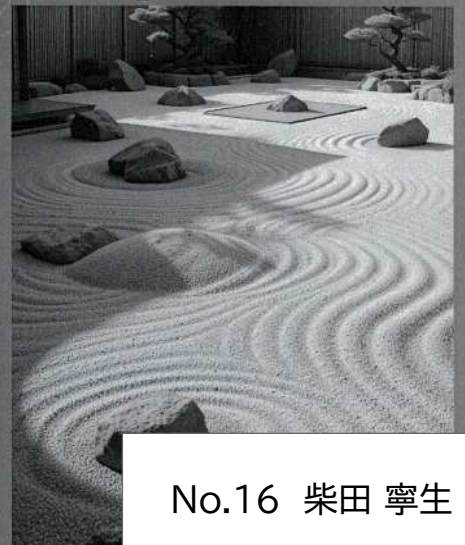
身に纏う枯山水

枯山水に描かれる砂紋の静かな流れに着想を得て、規則的でありながら有機的に変化する線を、異なる色味のデニムの切り替えとステッチで表現しました。色のコントラストによって砂紋の奥行きや流れの強弱を際立たせ、静けさの中に宿る動きや緊張感を現代的なモードとして再解釈しています。リアルクローズの構成にすることで、実用性と市場性も意識し、日本の伝統美を現代の街着として提案しました。

BS

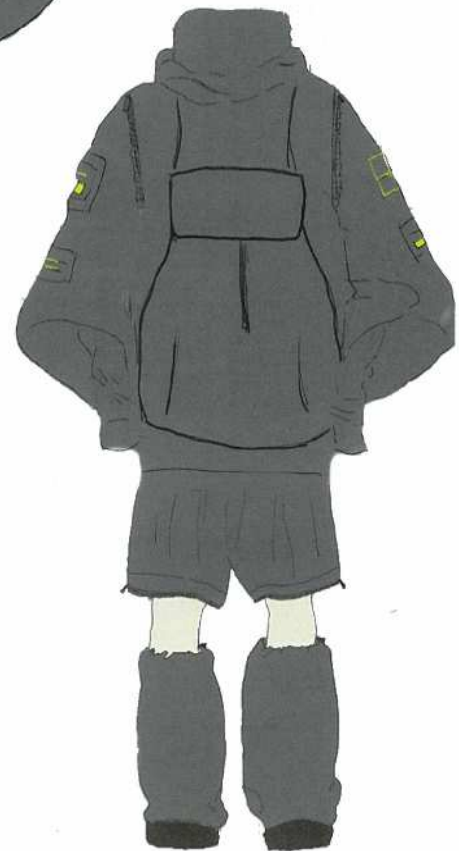


inspiration



No.16 柴田 寧生

一着、多用。



素材

ナイロン



ファスナーの活用

- ・フードが取り外しできるようになっている
- ・着脱機能にし、パーカーからノースリーブに変身
- ・パンツは長ズボンから半ズボンに切り替えできる

パーカーの裏にはリュックがついている

No.17 嶋田 有紗

Digital Armor



コンセプト

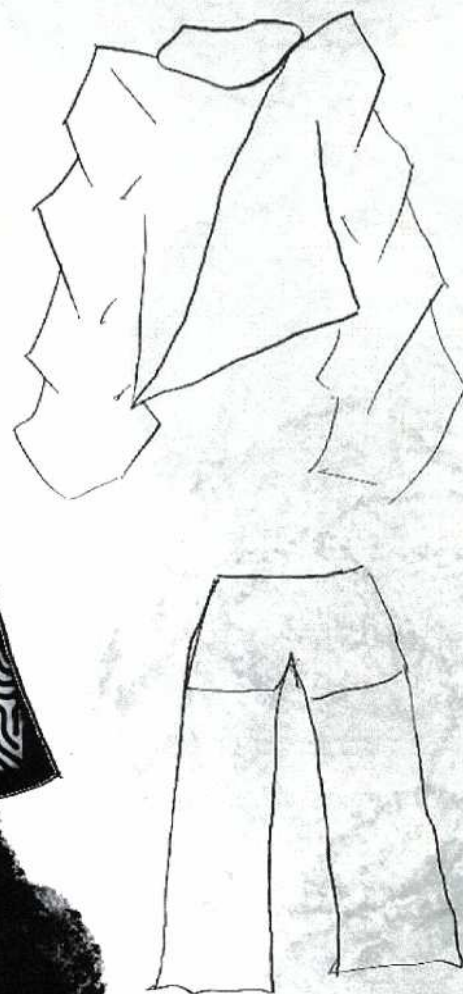
SNSやデジタル社会の発展によって、人は常に他者の視線や情報に晒されながら生活している。

本デザインは、その現代社会の中で自分自身を守るための“防御”をテーマに制作した。

大きなフードと構築的なシルエットは、外部から身を守る鎧をイメージ。

一方で、身体に沿って流れる曲線柄は、人間の感情や情報の流れ、複雑に絡み合う現代社会を表現している。

重厚感のあるブラックカラーの中に、動きによって生まれる柔らかなシルエットを加えることで、強さだけではなく内面の繊細さも表現した。



Controlled Bloom

花は制御された区画内で綻ぶ。

不規則性は制御され、

美しさは維持される。

均一に整えられた構造の中で、
自然は静かな揺らぎを残す。



Back Style

テキスタイルイメージ



Border less

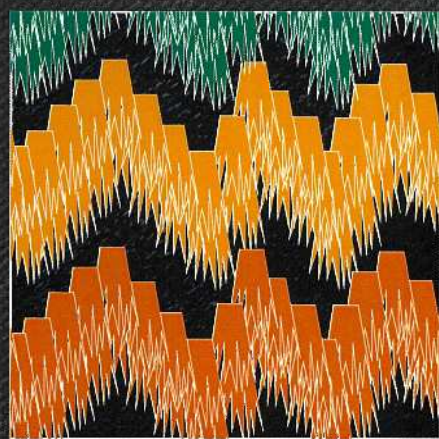
性別や年齢に囚われることなく、世界中の誰でも
着用できるデニム。

そんな境界線のないアイテムを素材として
使用しました。

色鮮やかなたくさんの糸をジグザグなボーダーにして
"ボーダー"レスと掛け合わせました。

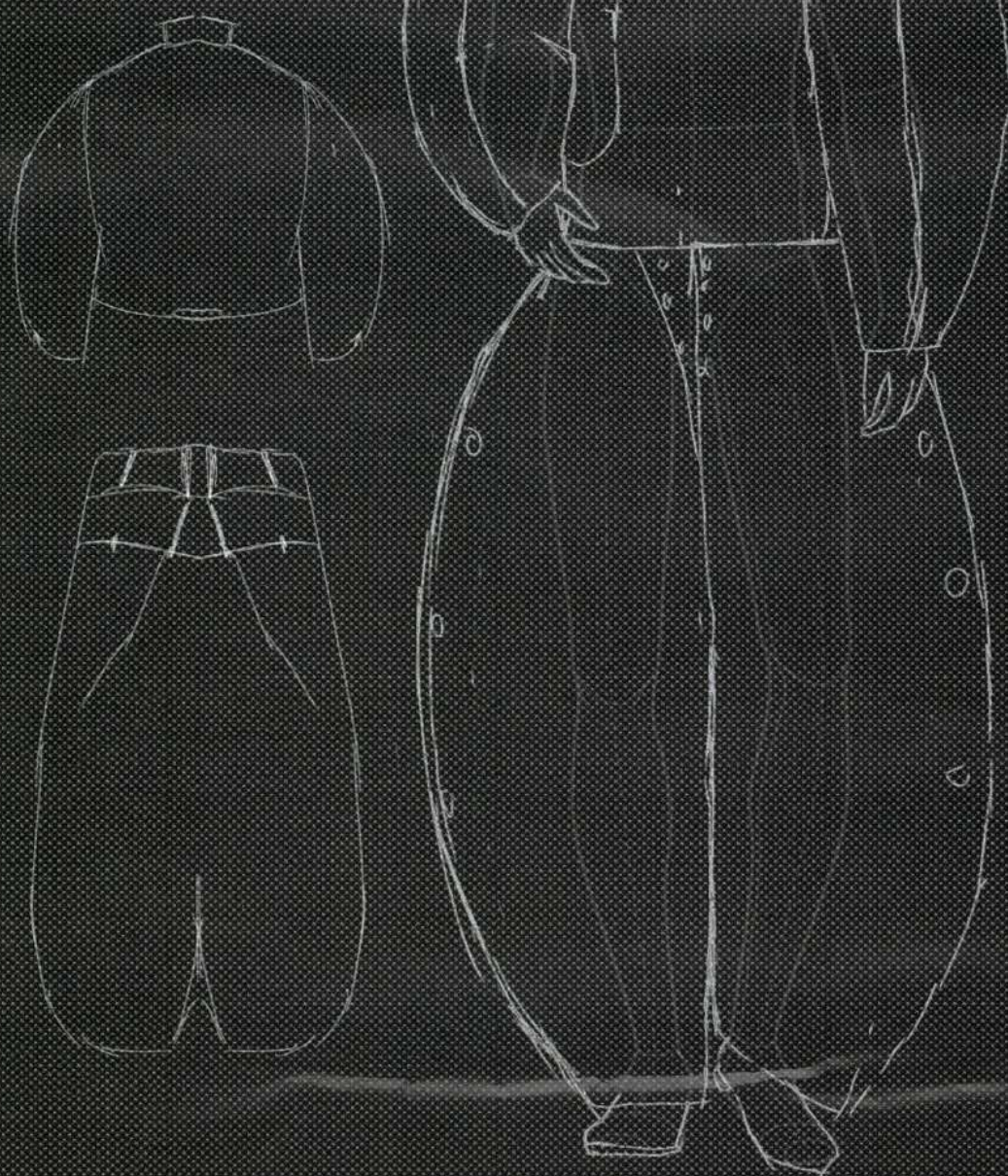
B.S

<素材表現イメージ>



様々な長さの毛足のある糸を
ジグザグに構成した動きのある
テキスタイルでリズムカルな
造形フォルムを表現した衣服を
提案します。

SPACING



Suits

クラシックなスーツスタイルにボリューム感のあるシルエットを組み合わせ、強さと柔らかさを表現したデザイン。
ブラックを基調にすることで洗練されたモード感を演出し、ゴールドボタンが上品なアクセントとなっている。

素材:ウール



B.S



NOISE CONTROL

ーノイズとの距離を調整する服ー

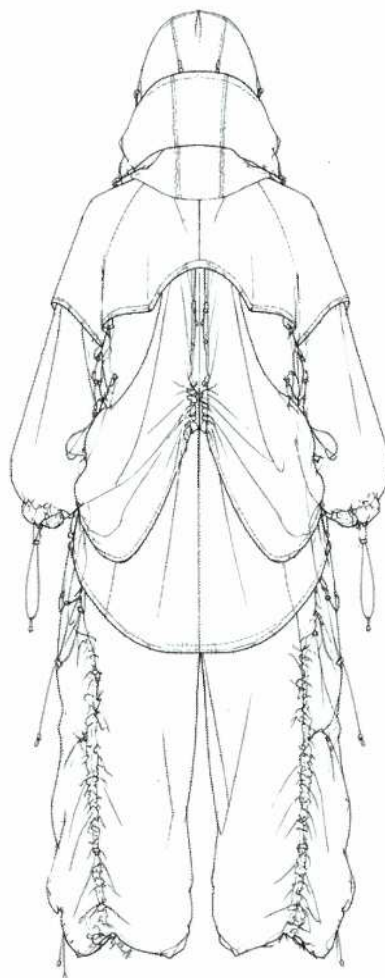


CONCEPT

現代人は、情報・SNS・人関係など、目には見えない多くの"ノイズ"にさらされている。

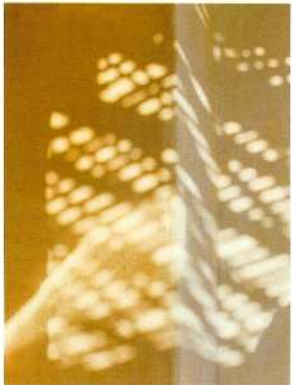
本デザインは、外界との距離を自分自分でコントロールし、心のバランスを保つための服を提案する。

B.S.

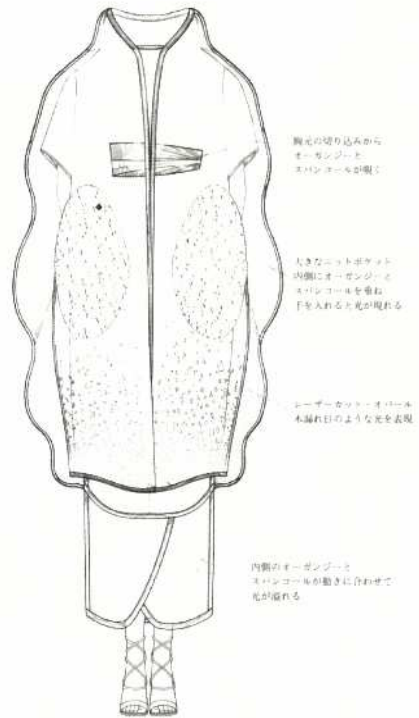


No.23 谷口 えり

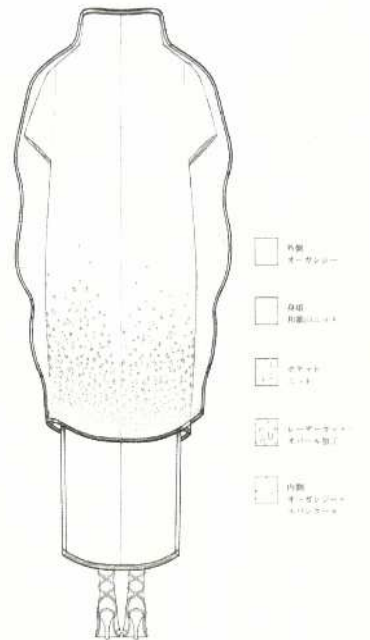
Soft Armor



FRONT



BACK



現代社会では、心を休める時間が少なく、常に強さが求められる。

本作品では、和歌山ニットの柔らかな風合いと身体を包み込むコクーンシルエットによって安心感を表現した。

一方で、内側に重なる構造的なレイヤーは、自分を守るための芯の強さを象徴している。

オーガンジー越しに見える構造は、強さを誇示するのではなく、静かに宿る意志を表現している。

No.24 津川 仁菜



ADAPT

CONCEPT

現代社会の中で、人は周囲へ適応しながら、自分自身を守るように生きている。
本作では、社会性を象徴するフォーマルウェアと、周囲へ溶け込むための迷彩柄を
掛け合わせることで、“社会という戦場に馴染むための擬態”を表現した。

その一方で、人は周囲へ同化しながらも、自分だけの存在意義や個性を失いたくない
という矛盾を抱えている。

本作は、「溶け込みたい」という感情と、「他者との差異を示したい」という相反
する欲求を、衣服を通して表現した。

本来、威圧や統率を目的としていたミリタリー要素を再構築し、他者と対立するた
めではなく、自分自身を静かに守るための衣服として提案する。

INSPIRATION



サラリーマンのスーツスタイルをインスピレーション
とした。

社会へ適応し、周囲へ同化する“現代のユニフォーム”
であるスーツに対し、チノ素材やミニスカート、ノーカ
ラーシャツなどのカジュアルな要素を取り入れること
で、均一化された社会の中でも個性を表現したいという
感情を表現した。



1980~90年代にアメリカ軍が湾岸戦争で使用して
いたデザートカモフラージュを用いた。
都市環境には本来存在しない砂漠用迷彩を取り入れるこ
とで、社会へ適応しようとしながらも
完全には同化しきれない現代人の違和感や矛盾を表現し
ている。

TECHNIC



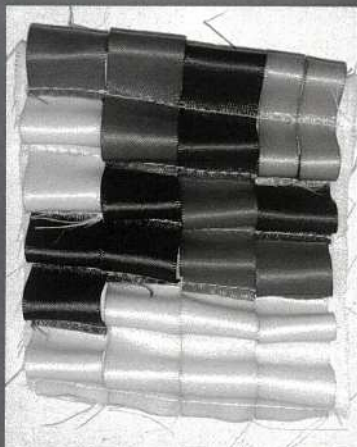
No.25 堤大晟

Graceful mind

デジタル化は、良くも悪くも、
自己表現の幅を広げた。
自身のエゴイスティックな態度をコントロールする
"謙虚な美徳"を備えることが、
ささやかにも秩序をもたらすのではないだろうか。

Technic

リボンを一定間隔で叩きつけ、
ピクセル化された人物像を浮かび上がらせる。



B.S.



Prism Bloom

光を纏う花

ポリエステル生地を縛り、熱加工によって生まれる絞りの凹凸や不規則な表情を、植物が成長する過程になぞらえたデザイン。

縦方向に流れるストライプ柄は茎や植物の生命力を表現し、熱加工によって生まれたギザギザの立体感は花びらや葉が開く瞬間をイメージしている。

また、ジャケットとスカートを同素材で統一することで、規則的なシルエットの中に絞り加工による偶然性を取り入れ、人工素材であるポリエステルから有機的な美しさを生み出した。

デザインポイント

- ① 絞り熱加工による立体表現
オーガンジーチュールを縛って熱加工することで、規則的な波状の凹凸を形成。
- ② 光を意識したカラーグラデーション
青から紫、オレンジ、緑へと変化する色彩で、プリズムによる光の分散現象を表現。

素材

オーガンジー・チュール

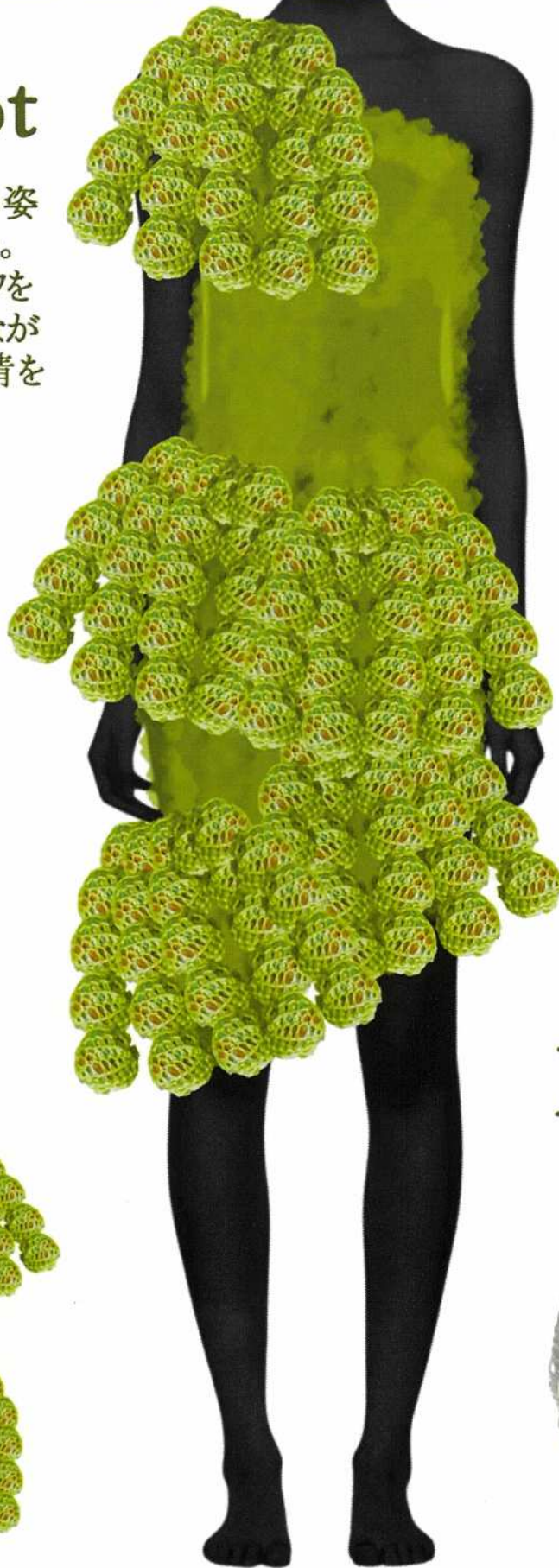
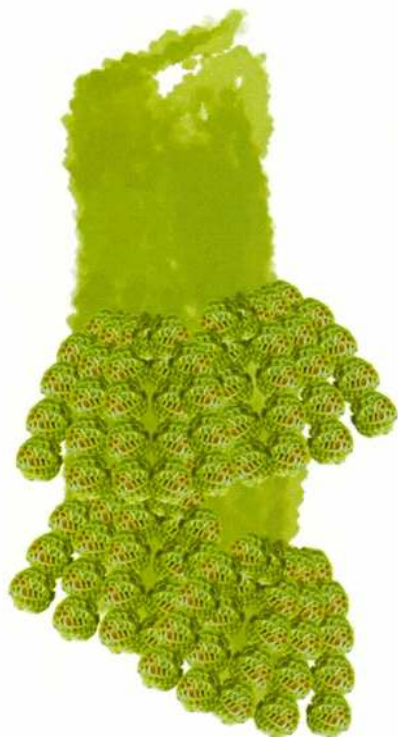
B.S

Mimosa

Concept

垂れ下がるミモザの姿から着想を得ました。
小さな丸いモチーフを集めて花が連なりながら広がる豊かな表情を表現しました。

BS

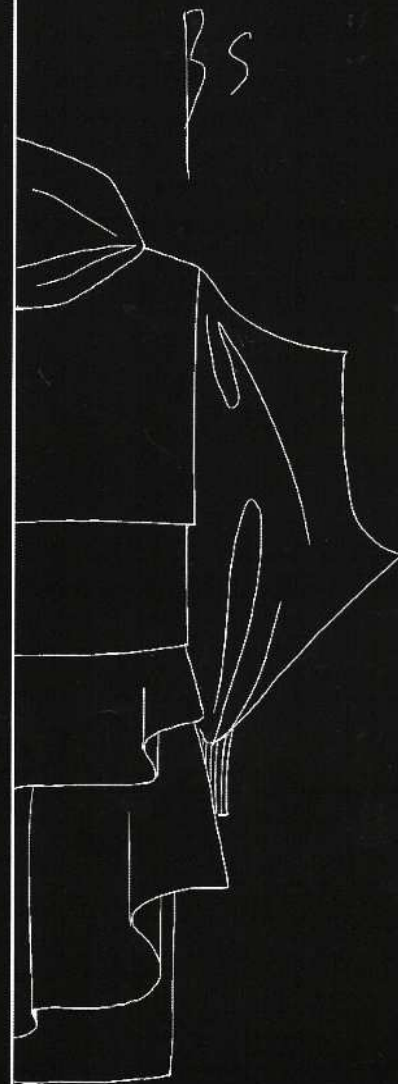


Material



No.28 中田 麻彩

MOTION



FAKE FUR

コード（紐）を用いてファーの質感とボリューム感を表現したジャンプスーツ

Technique image

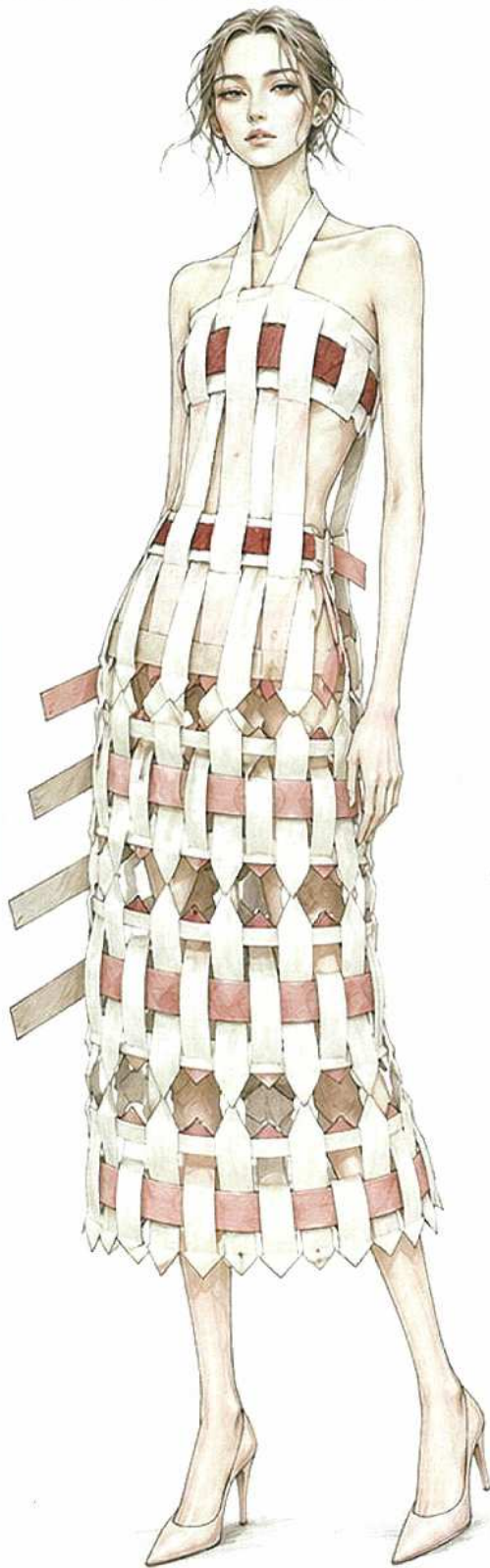


BS

No.30 原 玲和

コンテスト用デザインスケッチ

ー オリジナルテキスタイルの構築ドレス ー



生地イメージ (オリジナル平織り)



構造プロセス

① 平織りにする

(オリジナルの平織り生地を制作)



② 合わせて差し込む

(縦横のパーツを差し込み固定)*



③ 立体的なフォルムにする

(体に沿うように形を調整)



ディテール



・立体的に差し込み、固定することで構築的な表情を生む

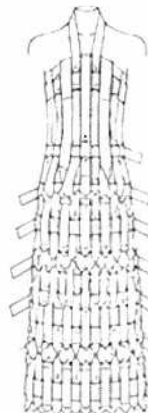


・サイドはテープを垂らし、動きのあるデザインに

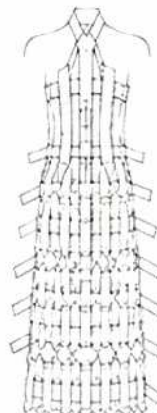


・ウエスト～ヒップは模様のように編み込み、透け感とリズムを演出

フラットスケッチ



FRONT



BACK

ポイント

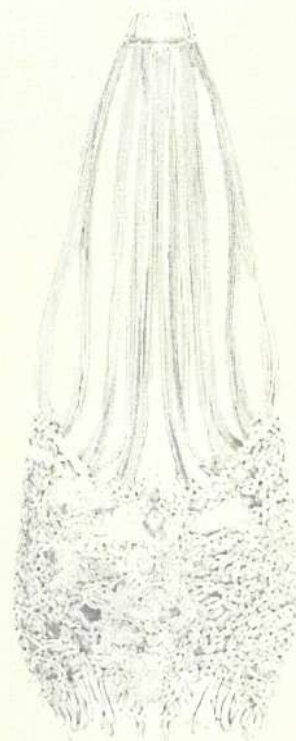
- ・オリジナルで平織り生地を制作し、パーツを差し込むことで構築的なドレスを表現。
- ・透け感のある編み構造で、軽やかさと強さを両立。
- ・サイドのテープが動きと抜け感をつくり、視覚的アクセントに

結節点

けっせつてん



BS



EMOTIONAL MASCULINE

Concept

未だ、男は強くあれ、泣き言を言うなという、感情を殺すことを美徳とする社会。

英国紳士の千鳥格子とバイカー文化という、歴史的な男のユニフォームをサンプリング。そこにノイズのようなテクスチャーを加えることで、古い男性像を現代的にアップデートする。

Inspired by



Technic



material



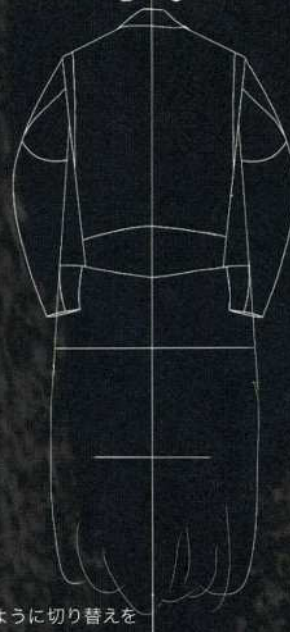
B品の使用する機会のないセルヴィッジデニムを使用。

Textile image



千鳥格子にノイズを加えることでエモーショナルに。

B・S



レザージャケットのように切り替えを多く使用することで廃材を減らします。

Spinning Helix

サンプル写真



ネクストステージ というテーマから、生命の情報を受け継ぎながら進化していくDNAの二重螺旋構造をモチーフにデザインした。受け継がれてきた遺伝子のように、過去から現在、そして未来へとつながっていく流れを、次のステージへ進む姿として表現。

過去の制作で余ったミシン糸を引き揃えて編み上げることで、これまでの経験や積み重ねが次のステージへつながっていく様子を表現。螺旋状に伸びるラインには、自分自身が変化しながら未来へ進んでいく姿を重ねた。

また、使われずに残った素材を新たな形へ生まれ変わらせることで新しい価値を生み出す、サステナブルな視点のものをづくりを表現した。

タイトルの「Spinning Helix」は紡がれる二重螺旋を、シンプルかつ象徴的に表現した。



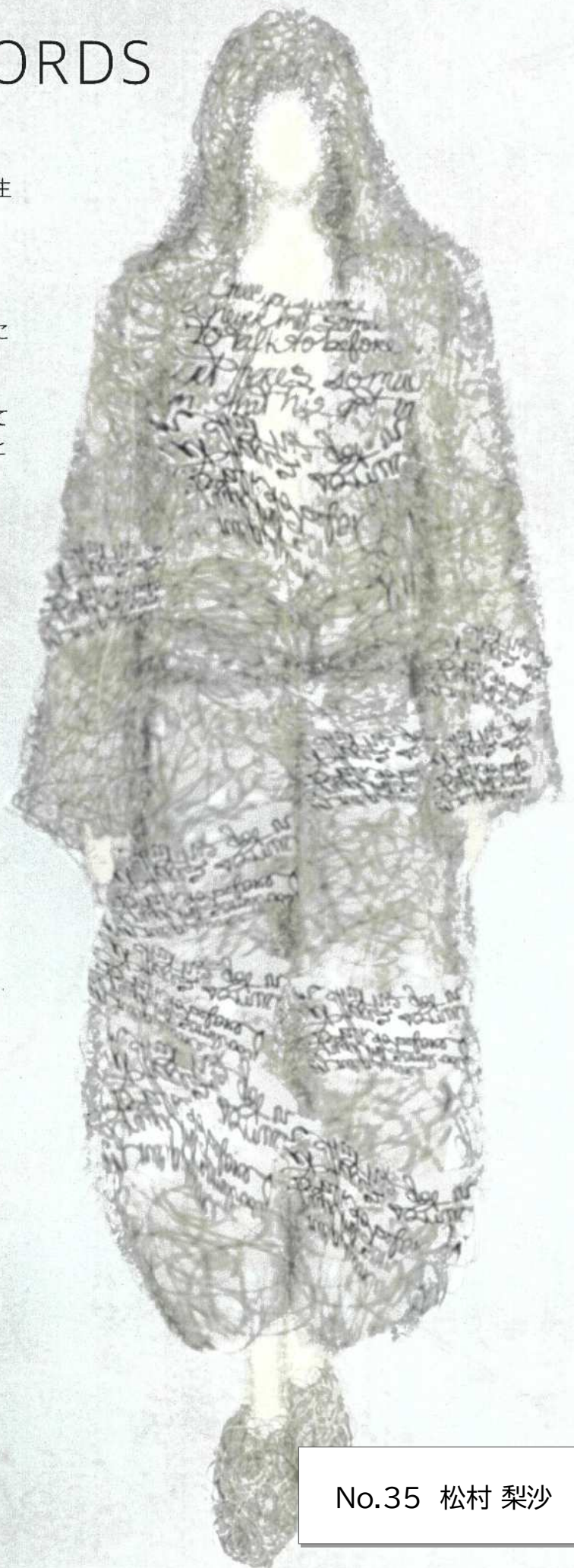
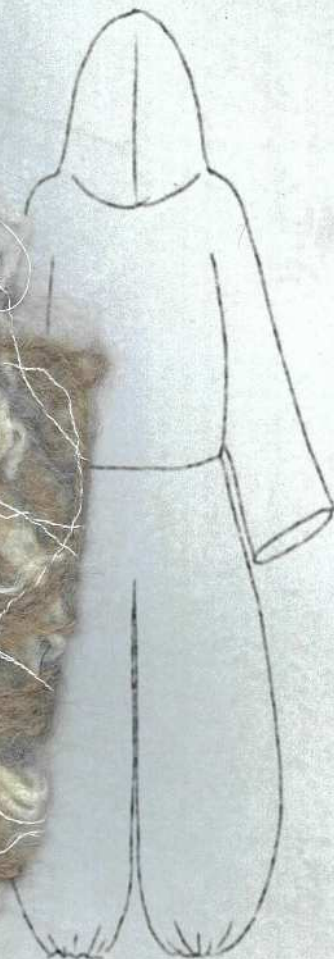
THREADS OF WORDS

人の記憶や感情を紡ぐ「言葉」に着目した。
私たちは日々、無数の言葉を受け取りながら生きている。
励ましの言葉。
記憶の中に残る言葉。
誰かに伝えた言葉。
それらは目には見えないが、確かに人の内側に積み重なり、その人自身の輪郭を形成している。
本作品は、言葉を一本の糸のような存在として捉え、繊維や衣服へと落とし込むことで、人と言葉とのつながりを表現する。

image



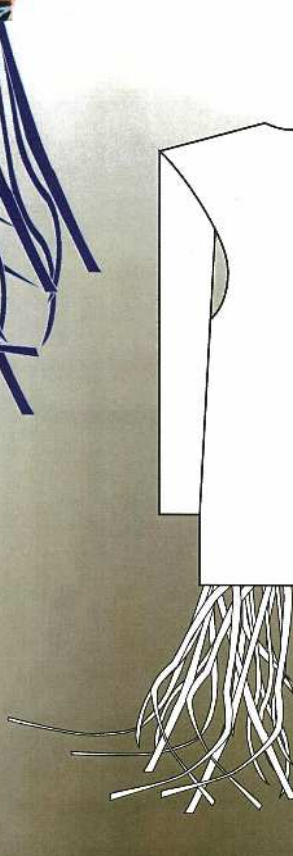
B.S



記憶の繋がり

一人一人がそれぞれ歩んでいる時間があり、それらは切れることなく、この先も切れることなく繋がっていく。
時間の繋がりという目に見えないものをフィルムをインスピレーションにそれぞれの記憶・時間の流れを
表現した1着となっている。

<inspiration image>



Liberation

現代社会の中で無意識に抱えるストレスやプレッシャー、固定観念からの解放をテーマとした。窮屈な日常から抜け出し、自分らしさを取り戻す瞬間をデザインで表現している。束縛と自由の対比を取り入れながら、解き放たれていく感情や高揚感をシルエットやディテールに落とし込み、新たな一歩を踏み出すためのエネルギーを表現した。



B.S

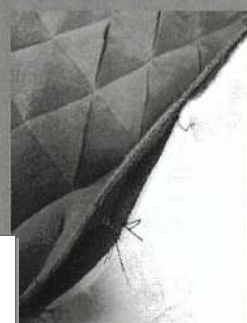


Textile

- ・デニム
- ・コットン



Technique



No.37 山崎 圭悟



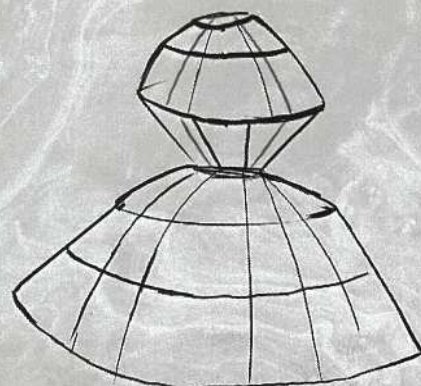
No.38 山下 千尋

トワールの切れ端を再利用
新たに紡ぎ直し、自分を包み込んでくれるニットに再利用
スカートはチュールを沢山使うことで歩く度ふわふわと広がる事で次の1歩を出す楽しさを表現

使用アイテム



ボーンの構造



No.39 LI ZHOU JING

VOID STRIDER

コンセプト文：
都市の緊張感と
防護性を融合
し、拘束的なレ
イヤー構造で未
来的な旅人像を
表現した。

